

郷土摂津

第73号

平成16年5月1日

いにしえ通信

発行 摂津市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課

〒566-8555 摂津市三島一丁目1-1

Tel(06)6383-1111 (072)638-0007

ホームページアドレス <http://www.city.settsu.osaka.jp/>摂津市の
石造文化財石造物群
(千里丘6丁目)

第2回

摂津市と吹田市の市境に市場池があります。市場池は江戸時代初期までさかのぼる古い溜池で、長い歴史の中で地域の人々の暮らしを守り、豊かな自然環境を育み大きな役割をはたしてきました。昔は味生大地と呼ばれていました。市場池の石造物群は昭和45年の日本万国博覧会の開幕に向けて道路の拡張工事が行われ、その時発見されたものや、移動させたものが市場池の南東隅に集められました。石造物群そのものの時代は特定できませんが五輪塔の笠部の立ち上がりがあるものがあり中世の特徴を残した比較的古い時代のものも含まれています。板碑型石仏を中心とするグループと、五輪塔を中心とするグループに分かれています。

また敷地内には2つのほこらがあり、向かって左にはお地蔵さん、向かって右には大峰本宮天河弁財天と記した札が納められています。他には、ほこらとほこらの間には12体、右側に2体、左側に6体のお地蔵さんが奉られています。

ふるさと摂津講座

摂津市とゆかりのあるテーマを選択し、古代からちょっと昔まで、摂津市の歴史を楽しく学習するふるさと摂津講座を開催します。

【期 間】平成16年6月16日(水)から平成17年2月16日(水)まで

【時 間】午後2時から4時まで

【会 場】摂津市総合福祉会館第1会議室

【定 員】60名

【講 師】ふるさと摂津案内人

◎受講に際しては、申し込みは必要ありません。各回とも直接会場へご来場ください。

講師はふるさと摂津案内人がつとめます。2月16日の味舌地区歴史散策は、ふるさと摂津案内人養成講座(11月頃予定)修了生がつとめます

講座内容

6月16日(水)	日本における「国民皆姓」
7月21日(水)	金剛院 淀川から土器が出土
9月15日(水)	摂津市内の力士墓
10月20日(水)	摂津市内のお地蔵さん 浄土真宗と鳥養
11月17日(水)	公宮牧場「鳥養牧」 河原樋と開拓の歴史
12月15日(水)	淀川の渡しと昔の生活 朝鮮通信史と淀川
1月19日(水)	貴族も遊んだ「鳥養院」 猿楽から能へ「鳥養猿楽」
2月16日(水)	味舌地区の歴史散策

石碑・顕彰札の紹介

安産祈願と子安地蔵

子安地蔵は木像で、今から千年以上前に造られたと伝えられています。人々は安産を祈ってこの地蔵尊を信仰してきました。

またほこらの中には子安地蔵とともに銅製の「釈迦誕生仏」、「応仁2年(1468)と刻印がある「五輪塔」、「珂雪童子の像」などがまつられています。子安地蔵は現在でも子どもの安全祈願や安産の祈願などで多くの人々の厚い信仰を受けています。



ほこらの中→
の子安地蔵

←ほこら



摂津市域の歴史をたずねて

【所在地】摂津市庄屋1丁目3番地先

【設置年度】平成6年度改修



刊行物のお知らせ 摂津市文化財愛護会が平成14年5月に「摂津市域のお地蔵さん」という冊子を作成されました。平成12・13年度にかけて、地区(自治会等)でまつり、管理されている地蔵尊、個人で供養されている地蔵尊などについて聞き取り調査をされ、まとめられています。若干の残部数がございますので、ご希望の方は、摂津市教育委員会生涯学習課まで。

第36回 埋もれた摂津市の歴史

摂津市と条里制(2)

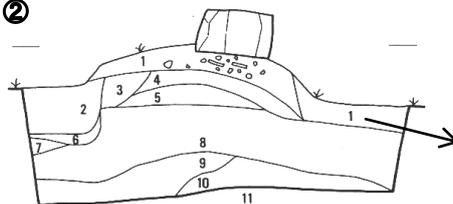
摂津市を含む三嶋地方の条里は、正東西・南北に展開する嶋上郡・嶋下郡の条里を主体としながら、摂津市域・吹田市域においては約33度北西へ方位が転換する地域として指摘されていることは先月号で紹介しました。この方位が転換して

いるところに境川が流れています。この境川に沿って「坪境石」・「けんか石」とか呼ばれる6個の石が並んで発見されています。昭和58年に大阪府教育委員会によりこれらの石の発掘調査が実施されました。調査の結果、坪境石が現在の状態に置かれたのは近世から近代の頃と判明しました。しかし、地あげや土地改良の度に設置しなおされた可能性があり、石自体は古いものである可能性を残すと報告されています。(大阪府文化財調査速報第38号)

①



②



① 条里原点石写真

② 堆積状況断面図

条里原点石が近現代の耕作土の上に乗っている事がわかりました。